

市では、市内で独自技術や新製品の開発、有望な販路開拓に意欲的に取り組む企業等の事業者を育成するため、その技術開発を支援しています。  
今回は、昨年度、この助成を受けて得られた成果や、今年度取り組んでいる内容についての経過をご紹介します。

## 勝山市ものづくり技術・研究開発支援補助金

対象事業▶

- ①ものづくり促進事業…ものづくりが新規性に富み、新技術を駆使した優れた研究開発や新製品開発の試作
- ②販売促進研究事業…県内外で開催される展示会等に積極的に出展し、自社の技術や製品の販路開拓の研究

対象者▶市内に事業所を有する中小企業者または中小企業団体

補助率・補助限度額▶

事業名	補助率・補助限度額
ものづくり促進事業	補助対象経費の2分の1以内（上限は100万円） ※恐竜または恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークをメインテーマとする製品開発事業は、補助対象経費の3分の2以内
販売促進研究事業	補助対象経費の2分の1以内（上限は50万円） ※恐竜または恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークをメインテーマとする製品の販売促進事業は、補助対象経費の3分の2以内 ※2社以上が協働する販売促進研究事業については、上限70万円

問 商工振興課（市役所2階）（☎88-8105）



**えごま油の販路拡大**  
株式会社むきのエゴマ  
商品価値を高めるために、パッケージの改良に取り組みました。田舎らしさがあり、かつ上品さを表現し、水滴や日光による劣化を防止するためのコーティング加工を施しました。そして、箱の接合による密着での印刷の滲みをなくするための改良を行いました。  
また、店頭での販売だけでなく、インターネット販売も行うようになりました。



**勝山の「赤ベコ」を目指して**  
久保指物店  
山形と言え「こけし」、福島と言え「赤ベコ」。これらのように、勝山と言え「〇〇」というものを作りたいたい、「福来るクルクル風車」などを開発しました。また、三重県伊勢市や長野県駒ヶ根市などで開かれるクラフトフェアなどで積極的な出店して販売しています。  
お客様との会話の中で、商品と併せて勝山市の宣伝も積極的に行っています。



**郷愁を届けたい**  
千代鶴  
勝山の野菜や山菜を使った料理を開発し、それを県外で販売するために、保存用真空パックの方法や成分表示ラベル等には大変苦慮しました。特に表示ラベルは、保健所等の適合規格の取得のために再三修正しました。  
しかしこれらを乗り越え、昨年の夏から「南青山291」で継続的に販売ができています。これは、大きな自信に繋がっています。

## 平成23年度の事業経過 （ものづくり促進事業）

### 恐竜フィギュア付き地元産物を使用した 環境配慮型お弁当の設計・開発

フレッグ食品工業(株)

地元の食材を使い、恐竜のフィギュアを付けたお弁当を設計開発しています。「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」の意義を伝えるため、単に「恐竜」を語るに止めず、環境の変化により減じた種の見方から、自然の恵みを共に喜びあえるレシピを考えています。また、外箱のデザインには、「福井県勝山市」が一目で解るようなストーリー性を持たせたいと考えています。

地元の方とのコラボレーションを大切にしながら、秋のイベントには製品化できるように頑張ります。



### 勝山産食材を使った 勝山ジオパーク・恐竜弁当の開発

アサヒフード(株)

市内には一般的な幕の内弁当はあっても、お土産的な持ち帰り弁当が全くありません。

そこで、ご飯は勝山ジオパークロゴを型取り、かまぼこは恐竜の形、たまご焼きにはイメージキャラクターの「チャマゴン」「チャマリン」の焼印を押し、これに季節を感じさせる地元の食材を豊富に使った弁当を作ります。皆さんに試食していただき、改良を重ね、地元の食材の消費拡大と勝山のイメージアップに繋がります。



## 日本の原風景

### “赤とんぼの舞う里”を守るために

“日本の原風景”を構成する要素の代表ともいえる“赤とんぼ”が全国的に減少傾向にあります。  
“赤とんぼ”は、秋になると水田に卵を産み、翌年の6月頃に羽化し、暑い夏は1000m以上の高地で過ごして、秋になると平地の田んぼに帰ってきます。農耕文化と切っても切り離せない生態をもつ赤とんぼは、日本人の心のふるさとを呼び起こす貴重な存在です。

生物多様性の保全を考えなければならない今の時代に、赤とんぼがいつまでも“普通種”として生息できる環境を残していきたい。そこに多様な生物が生息できる可能性が広がります。

私達に何ができるのか、何をしなければならないのか。勝山に住むみんなと一緒に考えたいと思います。

とき 10月1日（土）午後2時～4時  
ところ 勝山市教育会館 1階ホール  
講演 「赤とんぼのつくる日本の原風景と心」  
石川県立大学教授 上田 哲行 氏  
報告・小学校の生息調査から  
（三室、野向、荒土、鹿谷各小学校）  
・移動経路確認について  
勝山市環境保全推進コーディネーター  
前園 泰徳 氏  
合唱 「赤とんぼ」  
ミュージカル劇団「ドラゴン・ファミリー」

問 生活環境課（市役所2階）（☎88-8104）